

# おりおりの句 (318)

瞽女唄の一期一会や春惜しむ

阿部 静雄

阿賀野市の出湯温泉にある華報寺で「第2回『心で聴く』越後瞽女唄コンサート」が開かれた。出湯温泉は、最後の越後瞽女と呼ばれた故小林ハルさんゆかりの地である。その地で十九日、小林ハルさん最後のお弟子さんの萱森直子さん、孫弟子に当る北村紋子さんとの競演があり、横浜に住む娘と三人で出かけた。仄暗い本堂には大阪や東京からの人達も多く集まっていた。演目も門付け唄の「瞽女松坂」から、数奇な運命に操られた親子の物語の「石堂丸」。また一方、滑稽な掛け合いで観客を魅了した「瞽女万歳」など、二人の呼吸も実に鮮やかだった。また夜には、同温泉の宿泊客約二十人程が広間に集まり、二人を囲んで「瞽女宿」の雰囲気も味わうことができた。修業年数だけが序列の全てであったと云う瞽女、生きる為の芸としてつけられた瞽女唄は魂の響きを感じる。